

立川市立若葉台小学校

学校だより

令和2年12月25日発行

校長 井土 満
〒190-0001
立川市若葉町4-24-1
TEL 042-536-3971
FAX 042-534-6943
HP <http://www.tachikawa.ed.jp/es21/>



星を見ながら

いづち みつる
校長 井土 満

数日前の夕方の南西の空に、輝く2つの星がすぐ近くに並んで見えました。この天体現象は学校ホームページにも紹介しましたが、木星と土星の大接近として、新聞やニュースでも話題になりました。前回こんなに近く見えたのは397年前(1623年)で、日本では江戸時代初期、徳川家光が幕府の三代将軍になった頃です。ヨーロッパでは物理学者・天文学者のガリレオ・ガリレイが活躍していた時代に当たります。ガリレオは1610年頃に自分の作った望遠鏡で、木星の惑星や月のクレーター、太陽の黒点を発見しています。ですから、この木星と土星の大接近は、確実に見ているはず。あの有名なガリレオと同じ現象を、400年後の私たちも見ているかと思うと、ちょっとわくわくしませんか。

でも、ガリレオと私たちは大きな違いがあります。それは、私たちは木星も土星も、そして地球も、太陽の周りを回る「惑星」であることを知っていますが、ガリレオの時代の人々は、太陽や夜空の星は地球の周りを回っていると信じていました。天動説です。天動説に異を唱えて地動説を出版したガリレオは宗教裁判にかけられ、地動説を唱えることを禁じられました。そのとき、「それでも地球は回っている」とつぶやいたという逸話が残っています。地動説が受け入れられるには、その後も長い年月がかかりました。

私たちは、目に見えていること、今までの考えや現象にとらわれ、また自分の都合のいいほうに、ものごとをとらえがちです。今から約100年前のスペイン風邪(H1N1 新型インフルエンザウイルス)の流行のあと、世界的な感染症の大流行(パンデミック)がなかったことから、「科学が病気・感染症を押さえ込める」と信じてしまいました。2002年の重症急性呼吸器症候群(SARS)や2012年の中東呼吸器症候群(MERS)のときも、日本国内では感染者が出ず、日本の衛生観念の高さや医学が流行を防いだと、なんとなく考えてしまいました。しかし、新型コロナウイルスの流行は、その考えを足下から崩してしまいました。今まで信じていたものが、否定され、ガラガラと崩れていく不安感は、止まっていると思って地面が、本当は動いていたのだと知らされた、400年前の人々の不安に通じるものです。その不安が、新型コロナに感染するかもという不安感を余計に増幅させているのでしょう。

しかし、それまでの考え方や固定観念の崩壊をきっかけとして、新しい発想や社会の仕組みが生まれるのも事実です。ガリレオ以降、科学は大進歩し、今の時代につながります。新型コロナウイルスの流行をきっかけに、GIGA スクール構想が進み、児童一人一人がパソコンを持ち、それで学習する時代が来ました。ネット上の膨大な知識の海に乗り出し、世界中の人たちとつながることも出来ます。教科書やノートが紙でない時代が、すぐそこに来ています。30年も動きのなかった35人学級も実現しそうですし、子供には関係ありませんが、毎日飽きるほど押してきた書類のハンコもなくなるようです。ガリレオの100年前に、地動説を唱えたコペルニクスの名前をとって、ものごとが180°がらりと変わることをたとえて「コペルニクス的転回」と言うことがあります。私たちは今、まさにコペルニクス的転回を目の当たりにしていると言えます。

新しい時代の新しい発想、新しいシステム、新しい価値観。それらを柔軟に受け止め、自分のものにできるのは、大人よりも子供たちです。木星と土星の、再びの大接近は今から60年後(2080年)のことです。その頃、今の小学生たちは70歳前後になっていて、その星を見て「60年前はコロナが流行った年だったね。」「あの頃に、大きく世の中が変わったね」ときっと回想するのでしょう。いやいや、60年の間には、もっとすごい変化があるかもしれません。それを見られないのは残念なような、見なくてすむのがホッとするような、複雑な気分です。

新型コロナ対応にとまどい、度重なる行事変更や様々な規制に、ご家庭、地域の皆様には、ご理解・ご協力いただきましたこと感謝いたします。そして、ともかく、一日も早くコロナ禍が治まり、子どもたちにも、皆様にも、穏やかで良き年が訪れることをご祈念申し上げ、一年を終わりたいと思います。



■楽しい冬休みにするために

◆安全に気を付けましょう

- ・「誰と」「どこへ」「何をしに」「何時に帰る」を、家の人に話してから出かけます。
- ・夕方の定時放送（午後4時30分）夕焼け小焼けの音楽が鳴ったら、家に帰ります。
- ・不審者！事故！ すぐに110番通報をしましょう。
(立川警察署 TEL 042-527-0110)

◆交通事故に気を付けましょう

- ・道路では、遊びません。
- ・とび出しはしません。
- ・自転車には、気を付けて乗りましょう。

◆すすんで取り組みましょう

- ・規則正しい生活をしましょう。
- ・計画を立てて、学習しましょう。
- ・家族や友達、地域の方にも、自分から挨拶しましょう。

◆心配なことや困ったことがあったら家族や大人に相談しましょう

■3学期当初の予定

- 1日（金）元日
- 6日（水）冬期休業日（終）
- 7日（木）始業式 給食無し
- 8日（金）給食（始）
東京英語村 TGG（6年）
- 9日（土）土曜日授業（公開無し）
- ※全校児童は11時30分頃から下校します。
- 11日（月）成人の日

- 12日（火）安全指導日 委員会活動（5年 6年）
- 13日（水）クラブ活動
- 14日（木）音楽鑑賞教室（5年）
- 15日（金）認知症サポーター講座（4年）
- ※詳細につきましては、学年だよりをご確認ください。
- ※3学期の学校公開につきましては、土曜日一斉での公開は中止し、分散での公開を検討しています。日時につきましては後日お知らせします。

■冬季休業日における「学校閉庁日」及び緊急の場合の連絡先等について

12月29日（火）から1月3日（日）まで

※上記閉庁期間中に教職員（管理職も含む）は勤務していないため、原則として面会及び電話での相談、転出及び転入の手続きは対応できません。

※休日、祝日、学校閉庁日の緊急連絡先

- ・PCR検査で本校児童に陽性が出た場合は、学校携帯に連絡してください。
なお、ご家族のPCR検査受診・結果の報告は、冬季休業日中には必要ありません。
- ・児童の生命に関すること等、緊急の事態が起きた場合。
学校携帯：副校長 中野 貴博 080-7163-6396 (9:00~15:00)

■最後に

都内での感染者数が連日増加しています。自分や家族の命を守るため、人に移さないために、感染予防に地域・家庭・学校で、継続してしっかりと取り組みましょう。

- (1) マスクの効果を過信せず、密集、密接、密閉を避ける。
- (2) 手洗いを徹底（丁寧に、繰り返し）する。
- (3) 家族で、毎日の検温、健康観察をしっかりと行う。←冬休み中も忘れずに